

## 二等乳の発生を防ごう

二等乳がたくさん出るのは気温の高い6月～9月の間です。昨年の7月には県下で農家から出荷された牛乳の7パーセント近くのものが二等乳になっています。二等乳は普通のもの6割以下の価格でしか取引されませんので、次のことによく注意しましょう。

(1) 乳をしぼる前には手をきれいに洗い、乳房もじゅうぶんにふいて毛やごみを乳の中へ落さないこと。しぼり初めの1握の牛乳は必ず捨てること。

(2) 搾乳用の器具は2、3パーセントの苛性ソーダ液でよく洗い、そのあと必ず塩素剤か逆性石けんなどで消毒し、ろ過布は熱湯で洗ってからかわかしておくこと。

(3) しぼった牛乳は、すぐ、井戸か冷水が絶えず入れ替る冷却槽に入れて摂氏15度以下に冷すこと。早

く冷やすためには、消毒したかくはん棒で、1、2回上下にまぜるとよろしい。また常に温度計で計って水の温度に注意すること。

(4) 牛乳をまぜる時には必ず同じ温度にしてからまぜること。また古い牛乳と新しい牛乳はなるべくまぜないようにすること。